



やな ぜ

令和5年11月 第7号 発行責任者 新村 幸江

やな ぜ 魂

ともに進む

〈共感・共汗・共歓〉

たくましく

あかるく

あたたかく

晩秋となり、朝晩の冷氣に身の引き締まる思いです。秋が短く、あっという間の冬支度と感じておりますが、短いながらも今年の秋には、今年ならではの学びの充実を図ることができたのでは、と思っております。これもひとえに保護者の皆様、地域の皆様、関係団体の皆様のご支援・ご協力があったからこそ、深く感謝申し上げます。さて、年末まであと1月ほどになりました。インフルエンザ流行の情報もある中、健康管理には十分に配慮し、元気な姿で今年を締めくくりたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。



1年生の「動物ふれあい体験学習」。ウサギをだっこする瞬間、みんなドッキドキ！

★温かさに包まれた霜月祭 ～「築瀬の笑顔が 地域の笑顔に」～

「お金をいくら持っていこうか?」「どの順番で回る?」「〇〇には絶対に行こうね!」などと、当日に向けて、子供たちは着々と事前準備を進めていました。こうした子供たちにとって待ち遠しい行事を毎年、本校にて開催していただけることに感謝の念でいっぱいです。当日ご協力いただきましたPTA・関係団体・自治会・大学等の皆様、ありがとうございました。26もの催しに参加してみると、すべてにおいて優しい表情で迎え入れてくださり、正にスローガンどおり、温かさに包まれた霜月祭であったなとしみじみ思いました。

子供たちは大人を相手にやりとりできたこと、自分でやり遂げるまで頑張れたことなど、様々な楽しさを味わい満面の笑みでした。このような姿から、地域の皆様で子供たちの「生きる力」を育てていただいていることに感謝し、何より大人の方々も共に楽しんでいるに感謝し、築瀬地区の教育力のすばらしさに、心打たれました。



駄菓子屋



スライム作り



チョコバナナ屋



バルーン工作



プラ板工作



ボウリング



わたあめ屋

当日は旭中学校の生徒さんにボランティアとして協力いただきました。チョコバナナや、わたあめの長蛇の列にも黙々と応える姿あり、片付けにも率先して取り組む姿あり、大助かりの一日でした。

★「人権」に関する講話を聴いて（5年生・6年生） ～知ることから始まる～

「子供たちに直接『人権』について考える機会を与えたい!」「日常の授業につなげたい!」教師のこんな願いから、講師依頼が始まり、人権月間にあわせて5・6年生それぞれの講話が実現しました。子供たちは、現実を知り、自分の思い込みを消去し、正しい知識に更新し、自分の生き方へつなげようとしていました。講話後の振り返りを紹介します。〈5年生〉 〈6年生〉



・人権とは、社会のルールの中で人として誰もが自分らしく生きること。肌の色や髪の色が違っても人としては同じということも初めて知った。

- ・人権とは自分と他の人を守るためのものだと思っていたが、「自分らしさも守りながら生きるためにあるもの」ということを知った。当たり前とは、みんなの中にあり、みんなに当たり前があることを気付かせてもらった。
- ・身体の性と心の性が一致しない人がいることを初めて知った。人を見ただ目で判断したり、勝手な想像をしたりしないようにすると決めた。
- ・インターネットでは確かに顔が見えないと、冗談なのかどうかも分からないので、気を付けてスマホやパソコンを使いたい。

・人種差別がおきず、人権が守られていれば苦しむ人がどれほど減ったかと考えただけでも心臓が締め付けられそうになった。

- ・差別において、自分がやらなければ良いわけではなく、止めずに見ていることもよくないので、少しでもそういったことに関心をもち、止められるようになりたい。
- ・私たちに何かできることはないか、変えられることがないか考えていて、差別や人権に対して関心をもち、支援することができると知って嬉しい。
- ・人権を守るため、少しでも多くの人々が救われるようになるために、「人権」を尊重する仕事に就きたい。今から少しでも差別などを受けている人に関心をもち、今の自分ができていることをやっていこう。



★相手のことを感じて（5年生）～ふれあい文化教室から学んだこと～

「相手のことを考えて!」「相手を気にして!」講師の先生が繰り返された言葉です。ダンスへつなげるための相手意識をとにかく強調され、結果として「真剣にやる」「集中する」良さに気付かせてくださりました。手を押し合ったり、相手に合わせて手を動かしたり、背中に乗ったりと、言葉を使わずにも、相手を感じていき、次第に子供たちは、「意識をどこに向ければよいのか」「気持ちを合わせるためには」と、身体表現の奥深さを学びました。



「相手のことを感じて!」「いいね!いいね!」

★役割を与えることで育つ ～縦割り班による読み聞かせ～

読書週間の試みの一つです。縦割り班による読み聞かせをやりました。異学年の仲間での交流が、こんなにも子供たちに刺激を与えるとは!予想を超える温かい読み聞かせの雰囲気に感激しました!



◇自己肯定感を育もう ～心の土台となる大切なもの～

今年の就学時健康診断では親学講座を実施しました。自己肯定感を育む極意、3つを教えていただきました。①とにかく子供の話をよく聴く②魔法の言葉「ありがとう」を何度でも③すぐに「ほめる」です。極意を詳しく伺っていくと、何と、本校の「共感・共汗・共歓」に通じる!と一人納得してしまいました!